

わじまぬりわん しょうかい 輪島塗碗を紹介しす

いぜん つか わじまぬり わん しゅうぜん お うつく そうしょく ほどこ もど
以前に使っていた輪島塗のお碗の修繕が終わり、美しい装飾が施されて戻ってきました。

わじまぬり じもと わじまし と わじまし こ つか つく けんろう
輪島塗は、地元、輪島市でしか採れない「輪島地の粉」を使って作られており、堅牢な塗りとかしよく ゆうび とくちょう にほん だいひょう でんとうこうげい しっき
な塗りと加飾の優美さを特徴とした日本を代表する伝統工芸「漆器」のひとつです。やく ねん れきし くに しゅうようむけいぶんかざい してい
約600年の歴史をもち、国の重要無形文化財にも指定されています。

こらい か けいしやう わたし たいせつ でんとうぶんか わじまぬり
古来より変わることなく継承されてきた、私たちの大切な伝統文化「輪島塗」を、きゅうしょく たいせつ つか おも
給食でも大切に使用していきたいと思ひます。

なみ ちどり きほう まきえ 【波に千鳥】技法：蒔絵

うるし えがら か
漆で絵柄を描き、固まらない
うちに、きん ぎん こな ま
うちに、金や銀の粉を蒔き、
ひょうめん ひちやく
表面に付着させています。



ゆきわりそう きほう ちんきん 【雪割草】技法：沈金

えがら ほ みぞ うるし きんぷん
絵柄を彫り、溝に漆や金粉を
うめ込んでいます。

